

「学力向上ポートフォリオ(小学校版)」

学力向上目標

潤いのある教育環境を整備し、わかって楽しい「よい授業」を実践する。

- 基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得させる。
- ・当該学年で習得すべき漢字を読み書きできる。(自校テストで80%以上にする。)
- ・たし算、ひき算、かけ算、わり算ができる。(自校テストで80%以上にする。)
- 思考力・判断力・表現力を高める。
- ・令和3年度全国学力・学習状況調査(算数)「思考力・判断力・表現力」で平成31年度(数学的な考え方)より自校の平均正答率を2pt向上させる。
- 主体的に学習に取り組む態度を育てる。
- ・さいたま市学習状況調査【学習に関する関心・意欲・態度】における「国語の勉強は好きですか。」「算数の勉強は好きですか。」の肯定的な回答の割合を令和2年度の値より2pt向上させた値にする。

具体的な手立て

- ① 「ドリルパーク」の学習履歴を活用し、児童が自分の学習内容の理解を把握し、学習の進め方を自ら調整していくことができるように個に応じた支援を行う。
- ② 児童主体の「さいたま市『アクティブ・ラーニング』型授業」を行う。
- ③ どの単元においても、解決方法の見通しをもつ場面を設定する。
- ④ 思考を可視化して表現し、考えを伝え合うことで、比較・検討する協働的な学びの場を設定する。
- ⑤ 授業のユニバーサルデザイン化を図る。

結果

- ・自校テストでは、漢字学習、算数の計算学習における習得の向上が見られた。
- ・令和3年度全国学力・学習状況調査(算数)「思考力・判断力・表現力」で平成31年度(数学的な考え方)より自校の平均正答率が向上した。
- ・さいたま市学習状況調査【学習に関する関心・意欲・態度】における「国語の勉強は好きですか。」「算数の勉強は好きですか。」の肯定的な回答の割合を令和2年度の値より向上した。

今年度の振り返り・次年度に向けて

学力向上目標に掲げた目標について達成できたものが多く見られたが、「わかって楽しい授業」のために、さらに意欲を高め基礎的な漢字学習や計算学習に取り組んでいく。

次年度は、タブレットパソコンの活用を推進し、学習ログをもとに個別最適な学びと協働的な学びの充実を図っていく。